

明治大学大学院文学研究科(アジア史専修)

特別講義

講師:大澤 耕史(おおさわ こうじ)先生

題目:ユダヤ教の聖書解釈:

「金の子牛像事件」からサタンまで

日時:2026年6月2日(火)13:30~15:10

場所:明治大学駿河台キャンパス グローバル・フロント 3階 4031 教室

講師紹介:

大澤先生(中京大学教養教育研究院・講師)のご専門は、古い時代のユダヤ教の聖典解釈研究です。近年はユダヤ教とキリスト教における解釈の比較研究、さらには両者の境界線にご興味が移っています。大澤先生は、「現代の文化をより詳しく知るためにも、その起源や歴史的発展を知ることはとても重要です」と指摘されています。

学部時代にユダヤ教に興味をもった後、博士論文、さらには現在の研究課題に至るまでの問題関心の発展の軌跡もお話しいたします。

主要業績:

・『金の子牛像事件の解釈史—古代末期のユダヤ教とシリア・キリスト教の聖書解釈—』、教文館、2018年

・“The Interpretations of the Golden Calf Story in Exodus 32 and a New Possibility: A Comparison of Judaism with Syriac Christianity,” *Proceedings of the 8th CISMOR Conference of Jewish Studies*, pp. 86-94, 2015

・「タルムードまでのユダヤ教におけるサタン像——キリスト教との比較から——」、『ユダヤ文献原典研究』第1号、5-23頁、2014年

・「ヘブライ語聖書における「魔術」の相関図——タルムードの議論を参考にして——」、『旧約学研究』第8号、1-19頁、2011年

☆本学学生・院生、教職員、学外の方も参加可能です。出席をご希望の方は準備のためアジア史専修江川ひかり(egawahi@meiji.ac.jp)へご一報いただけますと幸いです。